学童保育

ってなあに？

働いて安心、育てて安心
みんなで子育て「学童保育」

名古屋市学童保育連絡協議会

学童保育の魅力①②③④

昼間のきょうだい

学童保育とは、昼間親が仕事などで家にいない家庭（留守家庭といいます）の子ども達が、放課後・学校休業日の時間を過ごすための場所。親がわりの指導員や、兄姉のような上級生たちと一緒に、安定した人間関係の中で過ごす、生活の場です。

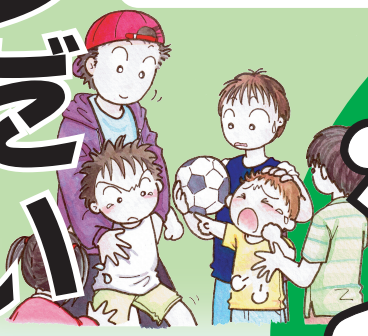
学校から「ただいま」と帰ってきて、家で過ごすのと同じように、おやつを食べたり、遊んだりします。そこで一緒に過ごす子ども達は、**「昼間の兄弟姉妹（きょうだい）」**なのです。

子どもの声

- ◆高学年のトーチがカッコイイ
- ◆お兄さんお姉さんにいろいろ教えてもらえる。
- ◆友達と遊ぶのが大好き
- ◆いろんな人と遊ぶのが楽しい

保護者の声

- ■少子化のこの時代に１～６年生までの幅広い子どもたちの中ですごせるのはうれしい
- ■年下の子やまわりの子を思いやる気持ちが身についた



生きる力をつける

学童保育所は遊びの場だけではありません、**生活の場**です。生きていくうえで大切な事を学んでゆきます。

保護者の声

- ■社会性・生活力が身についた
- ■たくましくなった
- ■家庭や学校では経験できない体験ができる
- ■班活動などで責任感・自主性が身についた
- ■学童で昼食やおやつ作りをするので、家での家事（特に炊事）は抵抗なく手伝ってくれる
- ■包丁やナイフが使えるようになった
- ■規則正しい生活のリズムができ、長期休暇の時にも生活リズムが乱れない

子どもの声

Q. 何をしてるときが楽しい？

- ◆おやつを作ってみんなで一緒に食べているとき
- ◆お昼ごはんの手伝いをしてるとき
- ◆キャンプ！

安心できる居場所

学童保育所は、**ありのままの姿を受け止めてくれる仲間と指導員**のなかで子どもが過ごす場所です。

大きな安心に包まれる心のよりどころです。

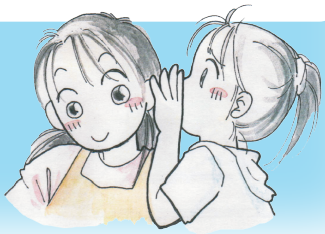
指導員の声

- ●日々子どもの命と安全と健康を守っています。
- ●親がいなくてもさびしい思いをしないように寄り添っています。
- ●子どもの表情や様子の変化を気にかけています。
- ●子どもたちの声を大切にしながら一緒に生活をつくっています。

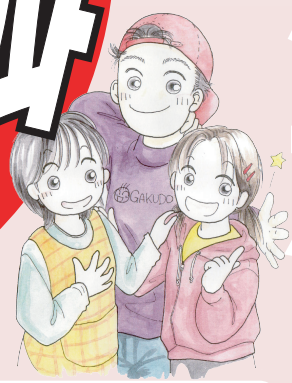
保護者の声

Q. 学童に預けて良かったと感じるのはどんなとき？

- ■迎えに行った時に友達と楽しそうに笑って過ごしているわが子を見た時。
- ■子どもが「また明日も学童に行きたい」と言う時。
- ■しょうがいのあるわが子が、自分らしくのびのびと過ごしているとき。
- ■子どもが学校に行けない日に対応してもらって助かった。



信頼できる指導員



保護者の声

- ■学童期の保育の専門家が、一生懸命子どもたちのことを考えてくれるのは心強い。
- ■親が気づかない子どもの成長を指導員から伝えてもらえる。
- ■今頃何してるんだろう？と心配することなく安心して働ける。子どもだけで留守番させるのは今の世の中不安です。

子どもの声

Q. 何をしているときが楽しい？

- ◆指導員とおしゃべりすること
- ◆近くの公園でみんなと指導員で遊ぶとき
- ◆学童からのお出かけ

親が仕事をしている小学生の子どもたちの放課後や学校休業日（土曜日・春休み・夏休み・冬休み・振替休日など年間100日以上）の生活を守る施設が学童保育です。

親に代わって子どもたちの生活を守るのが指導員の仕事です。学童保育で子どもたちが安心して生活しているから、親も仕事を続けられるのです。

共同の子育て

学童保育わの輪 5

‥‥子育ては1本のロープを編むような作業。太くなったり細くなったり、ちぎれそうになったり。でもそれは子どもにとっては命綱。綱が切れそうになったり編むのに疲れ果てた時、他の人の綱を頼ったり編み方教わったり‥‥子どもを中心にして、学童保育では、親と指導員が**一緒に子育て**をしています。

親の声

■働きながら子育てをする仲間ができ苦楽を共にする中で深く関わることができ、子育てが楽しくなった。

■子育ての悩みを相談しあえる。

■同じ学童保育所の親が、わが子のように叱ってくれるのを見たとき、「ありがたい」と思う。

■みんなで一緒に子どもの成長を見守るのがいい。

子どもの発達を保障する学童保育所

☆学童保育所は学童保育の魅力①～⑤にあるように、子どもに寄り添いながら成長を保障していくところです。我が家に帰るのと同様、毎日帰る場になるのが学童保育です。

学童保育とトワイライトスクールを一緒にはできない

☆何かあれば日中家に帰れる子どもと、保護者が日中家にいない子どもでは、気持ちのよりどころが全く違います。大人を必要とする・大人に寄り添うのが子どもですから、専任の指導員が親代わりになってケアすることが必要になってきます。

☆子どもに関して専門的な知識と技能を持った大人と専用の建物があれば、安心して親は働くことができます。

☆トワイライトスクールは遊びの場、学びの場を提供する事業です。トワイライトでは遊びたい子が集まり思い思いに遊んだり体験活動に参加します。本来行きたくなければ行かなくてもいいし、行ってもいつでも帰ることができるところです。

国の「放課後子どもプラン」でも
学童保育とトワイライトスクールは別のもの

☆国の「放課後子どもプラン」は、学童保育を全小学校区につくる計画です。一方、全ての子どもを対象にした事業（トワイライトスクール）は２校に１箇所つくる計画です。

☆学童保育とトワイライトスクールの両方を行うことで、より多くの子どもたちの放課後・学校休業日の生活が保障できるというのがプランの趣旨です。

学童保育とトワイライトスクール両事業の目的に沿った拡充を

☆目的の異なる両事業は、一体化するべきではありません。

☆子どもの視点に立ち、厚生労働省（名古屋市の子ども青少年局）、文部科学省（名古屋市の教育委員会）それぞれが連携を取り合って子どもたちのためにより良い施策を進めることが今求められています。

子どもの発達を保障する学童保育

学童保育所は、この「学童保育の魅力①～⑤」にあるように、子どもに寄り添いながら、健全な成長を保障していくところです。我が家に帰るのと同様、毎日帰る場になるのが学童保育です。

学童保育とトワイライトスクールを一緒にはできない

☆名古屋市が実施しているトワイライトスクールは、遊びの場・学びの場を提供する事業です。トワイライトでは遊びたい子が集まり思い思いに遊んだり体験活動に参加します。本来行きたくなければ行かなくてもいいし、行ってもいつでも帰ることができるところです。

☆何かあれば日中家に帰れる子どもと、保護者が日中家にいない子どもでは、気持ちのよりどころが全く違います。子どもは大人を必要とし、大人は子どもに寄り添う必要があるのです。専任の指導員が親代わりになってケアすることが必要になってきます。

☆子どもに関して専門的な知識と技能を持った大人と、専用の建物があれば、安心して保護者は働くことができます。

☆このような、目的も対象も異なる二つの事業は、一緒にすることはできません。

名古屋市学童保育連絡協議会

TEL(052)872-1972 FAX(052)308-3324 Mail:info@gakudou-nagoya.org